



あか 灯り

「ステージ4です」

あの日、突然の宣告でした。母の近くにいたことで、少しでも心の支えになればと思いい、母の家の隣に崩さず残してあったこの

家に家族で引っ越してきました。



那賀川町 柴 真紀さん

この7年、私に何ができるときかを考えてきました。最近、母を身近で支えてくださる方々へ「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。

朝方まで部屋の灯りがついていたら日からこんにちまで。

身体の調子が良い日は、八十八箇所巡りや、お接待など、感謝の気持ちを行動で表すことを考えてきた母。

宣告を受けた日から7年。いま、こうして生きています。なんて母も想像してなかったと思います。

昨今における医療の発達は劇的で、抗がん剤においても新薬が次々に開発され、できる限り身体に負担の少ない治療へと日々進歩しています。おかげさまで、あの恐ろしい副作用も最近では感じません。

しかし、その一方で経済的な負担が大きくなっています。高額療養費制度などの、医療費が軽減される制度も有りませんが、長期にわたり治療を受ける患者自身が、いろいろな

制度を調べて手続きすることは難しいように思います。病院などの身近な環境の中で、アドバイスを頂ける親

切な機関があればと願います。安心してより良い医療の提供を受け平穏な日々を1日でも長く過ごしてほしい。

「かあさん」
あなたがいるから、そこ人が集まるのです。
だから母は生きます。
あなたへの感謝の気持ちと共に。

次は、羽ノ浦町の矢田千恵さんをお願いします。

市民文芸

短歌

阿南市文化祭短歌大会選

原 美智子

終戦忌父を想いて七〇年戦野の映像おもかげさがす

米田 啓子

栗拾う山にふわりと秋刀魚焼く匂い運びて昼餉を告ぐる

程野 町子

涼風の吹き初^そむ朝^{あした}追われつつ生き延びる日日そつと愛しむ

鹿島壽美子

台風に傷つく小さき向日^{ひまわり}葵は乳飲み子のよう太陽を吸う

福崎 孝子

孫の建つる上棟の幣^{ぬき}見とどけて平和の集いの席に馳せ行く

臣永 悦子

夏祭り打ち上げ花火を窓に見て子育ての日日また遠くなる

程野 茂

防火槽に金魚放ちし少年の「元気ですか」と時折覗く

俳句

阿南市俳句連合会選

池田 福美

境内に流るるお琴灌仏会

一日を花人となり花に酔ふ

瀬藤 豊子

山里に一句をきざむ花の雨

淡島 春海

外^とづくにの人混り入る遍路バス

板東美恵子

リハビリをすませて仰ぐ臈月

七條 朝恵

気心の知れておしやべり花のバス

数藤 耕風

三椏の花もうつむぎ茶席かな

松本スズ子

畦青む朝戸繰る手の軽やかに

五光 春海

ひとり居の天子の蝶や庭の舞

大西 里美

入学児一つ叱って二つ褒め

多田紀久代

川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

嬉しさがぼろり涙を連れて来る

佐野 智子

春が来た娘のリップ借りて化け

原 公美子

寄り添うて卒寿夫の杖になる

野村 敏子

寄り道に学びがあつた思いやり

持木 寿栄

失言で飛ぶ鳥になる前に落ち

野口 吾朗